

GREEN×EXPO 2027の開催目前！市内の花き生産者が丹精込めて育てた自慢の一品です。

- 農政活動協力金（募金）のお願い ●農業者年金加入推進活動で表彰
- 農業委員・農地利用最適化推進委員の募集 ●委員紹介 ●横浜市からのお知らせ

神奈川県農業会議の 農政活動協力金（募金）のお願い

農政活動協力金は、県内農業の振興や農業者の経営向上など農政活動のために、神奈川県農業会議の事業に賛同する農家のみなさまに募る募金です。

本誌「よこはま農委だより」の作成など、横浜市の農業委員会が行う事業へ活用させていただきます。

農家のみなさまのこれまでのご支援、ご協力に改めて感謝申し上げますとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

期間：令和7年12月まで

問合せ

横浜市農業委員会連合会事務局（横浜市みどり環境局農政部農政推進課内）
電話：045-671-2631

農業委員会の活動紹介

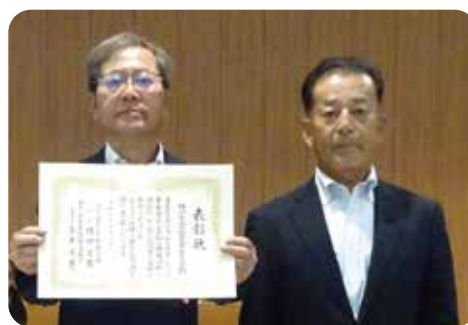
今年も、農業者年金加入推進活動の功績が表彰されました！

中央農業委員会、南西部農業委員会が、令和6年度農業者年金加入推進優良団体として表彰されました。農業委員会・JA横浜・神奈川県農業会議が連携して、身近な農業者に農業者年金の特徴を積極的に広報し、農業者年金の加入に関心がある方に、制度について個別に説明をした結果、若手と女性を含む多くの農業者が、農業者年金に新たに加入しました。この活動実績が評価を受け表彰されました。

農業者年金の目的は、農業者の老後の生活の安定等を実現することです。加入対象年齢は65歳未満で、自身が積み立てた保険料とその運用益を年金として受け取ることができます。



中央農業委員会
角田会長（左）
野路会長職務代理者（農業者年金加入推進部長）



南西部農業委員会
矢島会長（右）
金子農業委員（農業者年金加入推進部長）

ご興味ある方は、地区担当委員・農業委員会事務局までご連絡ください！

農業委員・農地利用最適化推進委員の募集

令和8年の任期満了に伴い、中央農業委員会と南西部農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集を行います。お申込みは、募集期間内【11月4日(火)～12月1日(月)必着】に、必要な書類をご提出ください。詳細は、横浜市農業委員会ホームページをご覧ください。



横浜市農業委員会

検索

■ 農業委員の募集

- 【募集人数】 中央農業委員会 19人 南西部農業委員会 14人
- 【任用期間】 令和8年8月18日から令和11年8月17日まで
- 【職務内容】 農地の権利移動や転用に係る許認可業務及び農地利用最適化の推進に係る業務等
- 【問合せ】 みどり環境局農政推進課 電話：045-671-2631

■ 農地利用最適化推進委員の募集

- 【募集人数】 中央農業委員会 19人 南西部農業委員会 11人
- 【任用期間】 農業委員会の委嘱日（令和8年8月18日以降予定）から令和11年8月17日まで
- 【職務内容】 農地利用最適化の推進に係る業務等
- 【問合せ】 中央農業委員会（都筑区役所4階） 電話：045-948-2475
南西部農業委員会（戸塚区役所8階） 電話：045-866-8495

委員紹介

本農委より第51号
～第57号で全委員を
ご紹介していきます。

凡 例	(委員会名) 氏名
	【農】 農業委員
	【推】 農地利用最適化推進委員
	①主な営農地域 ②主な作物 ③ひとこと

中央 村岡 鐘【推】

- ①都筑区大熊町・川向町
- ②施設野菜
- ③施設でトマトを栽培しています。担当地区の川向町・大熊町は、畑の周囲に住宅が多く、農作業では、近隣に気を遣う場面の多い場所だと思います。最適化推進委員として、都市の中で頑張っている農業者の助けとなれるよう、今後も地域の方々に貢献していきたいと考えています。



中央 中山 勝【推】

- ①都筑区池辺町
- ②野菜
- ③農業委員に選出されて2年が過ぎました。農地や農地法のこと、少しずつわかってきたところです。残された任期も、池辺地区の農業の発展に微力ながら貢献していきたいと思っています。



中央 大矢 勝【推】

- ①都筑区荏田南
- ②露地野菜・果樹・水稻
- ③露地野菜とキウイをメインに果樹を栽培しています。担当する地区では宅地化が進み、ゴミや石の投げ込み、防風網の切断などの被害に悩まされています。今後も農地保全の課題について、農地利用最適化推進委員として取り組んでまいります。



中央 内田 英一【推】

- ①保土ケ谷区仏向町
- ②露地野菜
- ③私は若いころサラリーマンをしており、途中から就農しました。就農して20年以上になりますが、何年やっても農業は難しいと感じています。なかなか満足いく野菜を育てられないと感じていますが、無農薬栽培を目指して頑張っていきたいと思っています。



中央 加藤 保【農】

- ①港北区新吉田町
- ②花き
- ③私の代から、シクラメンを中心とした花き栽培をはじめ40年となります。横浜北部は、花きで有名な地域でもあり、私も、施設380坪でシクラメン約40種、9,000鉢を栽培しています。引き続き農業委員として、都市農業の担い手の育成に努めていきたいと思っています。



南西部 鈴木 宏【農】

- ①戸塚区戸塚町
- ②露地野菜
- ③農業委員として2期目となりました。農地の維持保全を通じて、地域の農業振興に貢献していきたいと思っています。また、高齢化の進む地域で生じる課題解決に向けて、農家の皆様のお役に立てるよう、努めさせていただきます。



南西部 鈴木 勇次【推】

- ①金沢区釜利谷
- ②露地野菜・施設野菜・果樹
- ③横浜農業の特色である地産地消に貢献していくため、地元の小学校で行われる授業の一環として、農業体験を通して安全安心で美味しい野菜の魅力などを伝えています。金沢区の代表として、今後も地域農業に貢献していきます。



南西部 宮川 正【推】

- ①港南区笹下
- ②露地野菜・果樹
- ③農地を維持保全するためには、農地が生み出す価値に、経済合理性をどのように持たせられるかという観点が必要と考えています。所有者のみならず、行政や皆の問題と捉え、この職を通じ貢献したいと思っています。



横浜市における農福連携の取組について

農福連携とは

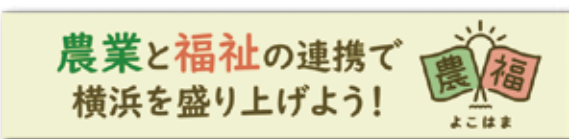
農福連携とは、障がいのある方などが、農業分野での活躍を通じて自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。横浜市では、農福連携を多様な担い手の確保に資する取組として位置づけ、推進しています。

農福連携ロゴマークを作成しました！

本市における農福連携を広く内外に発信することを目的として、農福連携ロゴマークを作成しました。この目的に沿ったご利用であれば、どなたでもお使いいただけます。



農福連携啓発物品（横断幕・のぼり旗）を貸し出しています！



農福連携ロゴマークを使った啓発物品を作成しました！
農福連携に係る各種イベントなどでご活用ください。
←横断幕（横：180cm 縦：40cm）

ロゴマークの利用、啓発物品の貸出のお手続きについては、本市ホームページをご確認ください。

横浜市 農福連携

検索

農福連携のホームページは
こちらの二次元コードから
アクセスできます。



問合せ みどり環境局農政推進課 農政推進担当 電話：045-671-2630

生産緑地内に施設設置を検討している方へ

生産緑地内で施設等を設置する場合は事前相談が必要です。

◆設置できる農業用施設について

ビニルハウス、温室、農業用倉庫等、生産緑地法上認められているもののみ、設置することができます。それ以外の施設（例：ごみ集積場所、掲示板）は設置できません。設置前に必ずご相談をお願いします。

◆その他法令について

生産緑地法上設置が可能な施設であっても、

・固定資産税の上昇 ・相続税等納税猶予の継続不可 ・用途地域上の規制
等の可能性がありますのでご注意ください。

詳細は、所管の区税務課や税務署、よこはま建築情報センターにご相談ください。

施設設置の事前相談は
こちらの二次元コードから
アクセスできます。



平成7年指定の生産緑地を所有し、特定生産緑地の指定を受けなかった方へ

生産緑地の指定は自動では解除されません。解除には指定から30年経過後に
手続（買取申出）が必要です。お手続きのための事前相談を受け付け中です。

買取申出の事前相談は
こちらの二次元コードから
アクセスできます。



問合せ みどり環境局農政推進課 生産緑地担当 電話：045-671-2726